

大飯原発の再稼働を絶対に許すな！



脱原発！の声をあげよう

福島第1原発の大事故から1年が経過しました。政府は昨年12月に「事故収束」を宣言しましたが、福島原発を巡る状況は「収束」とは程遠いものです。原発周辺からは依然高い放射線が出続け、廃炉作業は数10年単位の道のりになります。居住地や学校などの除染、食品への放射能汚染の管理、作業員の確保、溜まり続ける汚染水の処理、問題を挙げればきりがありません。日本に住む人々にとって今後数十年にわたる、放射能との長い戦いはまだ始まったばかりです。

野田首相は、就任後すぐに行われた国連での演説で「原発の安全性を最高水準に高める」と表明、昨年12月にはベトナム、ヨルダンなどへの原発輸出を決定するなど菅政権が進めた脱原発の流れを押しとどめようとしています。政府、関西電力は4月中の大飯原発3・4号機の再稼働をもくろみ、その根拠として原発の安全性を評価するストレステストの結果をあげています。しかし、これまで一貫して安全性を軽視してきた原子力安全・保安院が「妥当」としたストレステストなど信用に値するのでしょうか。事故原因の究明も安全対策も不十分のままの再稼働など言語道断です。関西電力は電力不足や電気料金の値上げなどで市民を脅し続けていますが、昨年今年と寒さが厳しい日が続きましたが、電力不足は起こっていません。私たちは、節電、電力の融通、余剰電力の活用で原発なしでもやっていける事を学びました。電力会社がいかに市民をだましてきたのかを学びました。この期に及んで全性より経済性を優先し、原発を動かそうとする政府・電力会社の姿勢に怒りを禁じえません。

現在、福井・若狭湾にある15基の原発の全てが停止しています。5月には、全国の全ての原発が停止します。脱原発は決して夢物語ではなく、現実なのです。もうこれ以上の原発事故、放射能汚染はごめんです。もし事故が起これば、福井のみならず関西に住む多くの人々が避難を余儀なくされるでしょう。琵琶湖の水や作物は汚染され、広範囲に深刻な被害が出るでしょう。大飯原発から30km圏内には京都市左京区も含まれます。緊急の安全対策も不十分で、地震・津波への備えも出来ていない原発の再稼働は絶対に許してはなりません。反原発全国署名で“脱原発！”の大きな声を届けましょう！ 署名用紙はアジェンダ・プロジェクトのホームページからもダウンロードできます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。(12.3.25)

アジェンダ・プロジェクト京都

京都市南区東九条北松ノ木町 37-7
Tel&Fax 075-822-5035
URL <http://www3.to/agenda/>
ブログ
<http://agenda-kyoto.ldblog.jp/>